

らくのへ 議会だより



【新年の抱負】

新年のごあいさつ 2

【議案審議】

12月定例会で決まったこと 3

【一般質問】

健康づくり・農業振興ほか2議員が問う 4

【県外視察研修報告】

先進地のがんばる議会を訪ねて 8

六戸と三沢の子ども達が参加した子ども会の雪ん子教室。リーダー研修後の楽しい食事。

新年のごあいさつ



明けましておめでとうございます。
皆様には、輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

年頭にあたり、六戸町議会を代表し、新年のご挨拶を申し上げます。

日頃より、町議会に對しまして、数々のご支援とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

昨年を振り返りますと、5月には先帝の退位に伴う皇位継承により、平成から令和に改元されました。その後も、皇位継承に伴う沢山の式典が催され、喜ばしい新時代の幕開けに国民の多くが明日への

希望を咲かせる、素晴らしい時代へ期待を抱いたことと申します。

9月にはラグビーのワールドカップが日本で開催され、日本代表がベスト8入りするなど、国民に感動を与えるとともに、ラグビーブームを巻き起こしました。ゴルフでは、全英女子オープンで渋野日向子選手が優勝、女子プロテニスでは大坂なおみ選手が一年の全米オープンでの優勝に続き、全豪オープンでも優勝するなど、スポーツにおいても若い人たちの活躍が目立ちました。

一方、九州北部豪雨や台風による暴風雨に集中豪雨、年間を通じ全国各地で発生した地震など、たくさんの方が被災者を生んだ大災害が多く発生した年でもありました。幸いにも、六戸町では天候不順はあったものの、水稲や野菜など、基幹産業である農業への影響はほとんどなく、農家の方々ははじめ、全町民が大変安堵したことと思います。

しかしながら、近年の地球温暖化による気象の変化は、今後においても予断を許さな

い状況となっております。

町議会では、4月の統一選挙で、2名の新人議員が誕生し、新体制となりました。これを機に、ますます重要な町議会の役割と責任を自覚するとともに、議員間討議による個々の資質向上を図るなど、さらなる議会改革にまい進してまいります。

今後におきましても、町民の代表機関として、町執行機関とお互いに緊張感を持ち、切磋琢磨しながら、町民の幸せを願い、皆様と共に歩む議会となれるよう、全力を尽くしていく所存でございますので、町民の皆様には、なお一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりますが、町民の皆様のご健康とご多幸を心からお祈り申し上げます、新年のご挨拶といたします。

六戸町議会議長

川村 重光



新体制となり、皆さんと共に歩む議会に

12月定例会 決まったこと

条例改正

◆ 町議会議員の期末手当額を5%引き上げ

◆ 町特別職・一般職職員の期末手当額を5%引き上げ

◆ 諸般の情勢から、町議会議員、特別職・一般職の職員の期末手当の支給割合を年間で5%引き上げます。

◆ 若手職員の給料改正
人事院の勧告に基づき、一般職の若手職員の給与を改正します。30代半ばまでの職員が対象で、給与月額500円から1500円程度引き上げます。

補正予算

◆ 一般会計4486万円を減額

◆ 平成31年度一般会計補正予算では、4486万円を減額し、歳入歳出の総額が59億7694万円となりました。事業の確定や見込み額の精査によるものです。うち、補正の主な内容は次のとおりです。

▽ 幼児教育無償化に伴い子育てを支援
(9064万円)

▽ にんにくウィルスフリー種子の購入を助成
(146万円)

人事

▽ 次年度に大曲小学校の児童数が増えるため机やイスなどを購入
(199万円)

◆ 選挙管理委員・同補充員を選出

議会では、12月25日に任期満了となる六戸町選挙管理委員会委員4人、同補充員4人を指名推薦により選出しました。任期は令和元年12月26日から令和5年12月25日までの4年間です。

選出されたのは次の方々です。

▽ 選挙管理委員
下田誠一さん(七百)
岡田良平さん(折茂)
保土沢博昭さん(鶴喰)

▽ 佐藤昭さん(小松ケ丘)
同補充員

第1順位
第2順位
第3順位
第4順位
山内 茂さん(上吉田)

※補充員は、委員に欠員が生じたとき、第1順位から順に補充されます。

財産取得

◆ エックス線撮影装置を更新

国民健康保険診療所で、エックス線を使って身体検査を行う装置を導入します。

▽ 契約金額1870万円
▽ 相手方
江渡商事株式会社
八戸営業所

質疑

問 盛田 嘉彦議員

装置購入にあたり、指名型プロポーザル方式で業者を選んだ理由は、また、当初予算で購入が認められ、消費税増税前に購入できたのに、契約日が増税後の11月14日になった理由は、町のお金は自分の財布と考えて行動してほしい。装置の納期が3月11日では、今年度ほぼ使うことができない。診察に影響は出ないか。

答 川原診療所事務長
通常の一般入札では、価格のみで決められますが、今回は、機器の性能やそれに見合う費用対効果を重要視するために指名型プロポーザル方式を導入しました。

購入が遅れた理由は、装置の選定や、その他機器の調整、さまざまな調査等で多少時間がかかったことが挙げられます。診察に関しては、現在使用している装置が稼働しているので、支障なく業務はできています。

次のページは 一般質問

12月定例会の4日目に一般質問が行われ、杉山茂夫議員、久田伸一議員の2人が登壇しました。

一般質問は、3月、6月、9月、12月に行われる定例会において、議員が町の施策の状況や将来の方針などについて、問いただしたりすることをいいます。

質問者と内容

4ページ



すぎやま しげ お
杉山 茂夫 議員

- ① 運転免許自主返納者を支援する事業は
- ② 老人福祉センターの施設整備を
- ③ 健康づくりの事業にウォーキングコースを指定してはどうか

5ページ



きゅうでん しん いち
久田 伸一 議員

- ① 「人・農地プランの実質化」に向けての今後の取り組みを問う
- ② スマート農業への今後の当町の取り組みの考えを問う
- ③ 農業法人化を積極的に促進する考えは
- ④ 補助事業を活用した農業経営の向上を図る考えはあるか

一般質問とは

- ・ 定例会に限り、町政全般に関して議員が質問できます
- ・ 質問項目は事前の通告が必要です
- ・ 質問者の順番は通告した順番で行われます
- ・ 質問形式は「一問一答方式」で行います
- ・ 同一項目について質問の制限はありません
- ・ 一人60分の制限時間があります



すぎやま しげお 議員
杉山 茂夫

運転免許自主返納者への支援は

現在、町の支援事業は考えていない — 町長

- 問** 県警の運転免許自主返納者支援事業に参加している町内事業者と支援内容は
- 町長** 小松ヶ丘の介護タクシー会社1社で、タクシー料金の10%割引を行っています。
- 問** 高齢者の運転免許が町が独自で行っている支援事業は
- 町長** 町独自では支援事業を実施していません。
- 問** 高齢者の運転免許自主返納者に対し、町民バスの無料定期券や回数券、タクシー券等の交付や他特典を付与する考えは
- 町長** 現在、具体的に実施する考えはありませんが、今後の状況

等を判断しながら対応していくべきと思っております。ただ、何らかの付与をもっての自主返納は根本的に間違っていると思えます。

問 町外のスーパや病院への交通手段として、三沢市、おいらせ町、十和田市の自治体バスとの連携は

町長 町民バスの三沢駅への乗り入れは、三沢市との協議の結果です。スクールバスや集落の巡回などの状況を見ながら、統括的な形の中でリンクするようにすれば、ある程度は解決できるのではと思っております。

近隣自治体との連携を



老人福祉センターの施設整備は

関係者と協議の上、検討したい — 町長

問 老人福祉センターの駐車場に町民バスが乗り入れる際の危険性は。ロータリー式の乗り入れができないか

町長 現状では特別危険だとは思っていません。門の解体工事や駐車スペースの確保、駐車場利用方法の変更等の

課題があるので、関係者と協議して可能かどうか検討してみたいと思います。

問 老人福祉センター施設内のエアコン設備の設置は

町長 施設の利用は火曜日と金曜日が主で、エアコン設置は広い

面積で費用が高額になることから見送られてきました。現在は大型扇風機などで対応しています。施設全体ではなく、体調不良時の休憩場所としての設置を優先課題として検討したいと思えます。

官庁街などをウォーキングコースに

歩こう会と共同でマップの作成を — 町長

問 官庁街線や館野公園、奥入瀬川河川敷をウォーキングコースに指定し、健康づくりの事業とする考えは

町長 現在、総合運動公園内にウォーキングコースの案内板があり、利用されています。運動公園以外にも官庁街線や館野公園など六戸町

歩こう会のご協力を得ながら共同でウォーキングマップを作成し、回覧やホームページ上で健康づくりの啓発をしていければと考えております。



きゆうでん しん いち
久田 伸一 議員

これからの、町の農業振興は

農業者に寄り添った独自の策を — 町長

問 「人・農地プランの実質化※」に向けての今後の取り組みは

町長 まず、町内農業者に対し、年齢や後継者の有無などを確認するためのアンケートを実施します。次に、回収したアンケートをもとに、5年・10年後に後継者がいなくなる土地の情報を記載した地図を作成します。

さらに、地域の中心的な担い手となる経営体の方々と徹底した話し合いを行い、農地の集約化に関する将来の方針や、中心経営体のあり方を決めます。

町としては、将来の地域農業の指針となる実効性のある、人・農地プランの作成に努めます。

問 「農家と徹底した話し合い」とは、どのように行うのか

町長 農業者、町、農業委員会、農協、

土地改良区などの関係者に参加していただき、原則集落ごとを実施します。

問 労働力不足に対応した、スマート農業への今後の当町の取り組みの考えは

町長 先端農業技術や機械を導入、活用するスマート農業は、国が強化すべきとして取り組んでいる主要戦略です。今後、効果の実証が確立し安全性も確保された際には、町内農業者が省力効果の高い先端農業技術や機械を導入、活用で

※「人・農地プランの実質化」とは…全国的な農業者の高齢化、後継者不足、耕作放棄地の増加などで、将来の見通しができるなくなる「人と農地の問題」について、アンケート調査をもとに地域で話し合い、地域農業の方向を明確にするものです。

きるようバックアップしたいと考えています。

問 農業経営の向上を図るため、税制面での優遇などがある農業法人化を積極的に促進していく考えは

町長 個人による家族経営を法人化した場合、制度資金の融資限度額が拡大されるなどメリットがあります。反面、法人所得が少ないと節税になるとは限らないなどの、デメリットもあります。

経営規模を拡大していくうえで法人化は有益な手段であることから、農家自身が大きく成長できることを望み、従業員の生活を保障するという社会的責任を担ってでも法人化に取り組みたいという場合には、町としても応援してまいりたいと考えております。



次世代の農業として大きく期待 (JAおいらせ六戸支店より提供)

問 国、県の補助事業を活用し、農業経営のさらなる向上を図る考えはあるか

町長 農業経営の向上を図るための補助事業は、国・県、そして、

当町においても実施されています。

今年度は町単独補助事業で、にんにくウイルスフリー種子購入助成事業を実施しました。

国や県の補助事業を活用しようとした際、小規模農業経営では、申請しても全国的に採択されにくい状況です。

今後、国や県への補助事業採択基準の緩和を含めた要請を継続し、農家への農業経営指導にも努めながら、費用対効果の高い補助事業の導入についても検討していきたいと考えております。

審議した議案と各議員の



・賛成が○、反対は×と表示しています。
 ・退は退席、欠は欠席を表示しています。
 ・川村重光議長は採決には加わりません。

議案番号	議案名	盛田嘉彦	松橋一男	種市正孝	長根一男	杉山茂夫	久田伸一	高坂茂	下田敏美	円子徳通	山本実	苦米地繁雄	審査結果	採決日
報告⑦	専決処分の報告 損害賠償の額の決定(町職員が草刈り作業中にATM回線を切断させた事故のこと。10万9080円を決定)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	報告	
議案④⑦	十和田地区環境整備事務組合規約の変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	12月10日
議案④⑧	青森県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の減少及び青森県市町村職員退職手当組合規約の変更(三戸郡福祉事務組合が解散となるため)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
議案④⑨	地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
議案⑤⑩	六戸町議会の議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
議案⑤⑪	六戸町特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
議案⑤⑫	六戸町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
議案⑤⑬	六戸町消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
議案⑤⑭	平成31年度六戸町一般会計補正予算(第3号)(4486万円の減額補正)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
議案⑤⑮	平成31年度六戸町国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)(2298万円の増額補正)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
議案⑤⑯	平成31年度六戸町下水道事業特別会計補正予算(第3号)(291万円の増額補正)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
議案⑤⑰	平成31年度六戸町農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)(35万円の増額補正)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
議案⑤⑱	平成31年度六戸町介護保険事業特別会計補正予算(第3号)(666万円の減額補正)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
議案⑤⑲	平成31年度六戸町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)(9万円の増額補正)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
議案⑤⑳	平成31年度六戸町国民健康保険診療所事業特別会計補正予算(第2号)(歳出予算の調整)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
議案⑥①	財産の取得(診療所で使用するX線一般撮影装置の購入)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
議案⑥②	工事の請負契約の変更(町総合体育館大規模改修(Ⅱ期工事)の請負契約を変更)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
議案⑥③	財産の取得に係る契約の変更(小型動力ポンプ付積載車の購入契約を変更)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		



議会においでください!
 次回は3月6日に定例会を予定しています。

☎ 議会事務局 ☎55-4547

議会のウェブサイトでも確認できます。詳しい日程や内容はこちらから!



議会活動あれこれ

- このコーナーは、議員の研修報告や議場以外の議会活動などを皆さんにご報告するページです。
- 議員は議場で審議するだけでなく、日々さまざまなところで活動しています。

議会活性化に向け意見を交換

11月14日に宮城県大衡村議会広報広聴委員6名が、同月18日に岩手県雫石町議会議会運営委員8名が来町し、議会改革の取り組みについて意見交換を行いました。

大衡村議会では、当町議会で実施しているワールドカフェ方式の意見交換会について、さまざまな意見が出されました。

雫石町議会では、議会改革の取り組みのうち、議会基本条例や一般質問の検証作業について質疑応答を行いました。

大衡村議会や雫石町議会の意見交換で得た情報は、当議会にとって大変有益なものでした。これからも、さらに議会改革に取り組んでいきます。



宮城県大衡村議会



岩手県雫石町議会

議会のひびき

(令和元年9月～11月)

9月

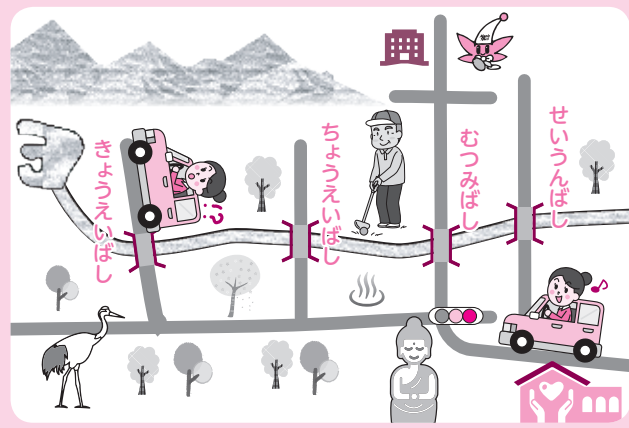
- 1日 六戸秋まつり(お遠り)
- * 青森県民駅伝競走大会
反省会
- 3日 議会運営委員会
議員全員協議会
- 6日 第4回六戸町議会定例会(～12日)
- 10日 決算特別委員会(一般会計)
- 11日 決算特別委員会(特別会計)
- 12日 議会広報委員会
- 13日 第66回六戸町敬老会
- 18日 産業民生常任委員会
上北郡社会福祉大会
- 19日 総務常任委員会
- 20日 * 秋の全国交通安全運動
「総決起大会」(十和田市)
- 22日 * 八戸松研賛会
「法務大臣賞受賞記念祝賀会」(八戸市)
- 24日 議員全員協議会

10月

- 3日 議会広報委員会
- 6日 町社会福祉大会・社協まつり
- 16日 議会広報委員会
- 17日 * 県町村議会議長会70周年記念式典(青森市)
- * 十和田市土木課所管期
成同盟会総会

11月

- 24日 * 郡シニアスポーツ大会
- 30日 正副議長・事務局長研修会(青森市)
- 2日 * メイプルマラソン大会
- * メイプルタウンフェスタ(～3日)オープニングセレモニー
- 5日 総務常任委員会
議員全員協議会
- 8日 郡町村議会議長会第3回定例会(横浜町)
- 11日 * 郡町村議会議長会行政視察研修(～13日) 東京都・千葉県
- 12日 * 県選出国会議員との懇談会(東京都)
- 13日 * 第63回町村議会議長全国大会(東京都)
- 14日 宮城県大衡村議会行政視察受け入れ
- 18日 * 知事を囲む行政懇談会(青森市)
- 19日 岩手県雫石町議会行政視察受け入れ
- 町議会議員県外行政視察研修(～22日) 徳島県・高知県
- * 印は議長のみ出席



広報委員の
ちょっとひと休み



離れると大きい?
近づくとも遠のく?

八戸・三沢線、長谷地区の中ほどを過ぎ、介護保険施設メープル横に差しかかるまでに前方に八甲田連峰が大きく見えてきます。通り過ぎるまで、身近にあるかのように感じます。しかし、上吉田地区に近づくとも少し遠くなったように感じます。鶴喰地区を抜け、共栄橋から眺めると、さらにさらに遠くなったように感じます。八甲田連峰に近づいているのに不思議です。どうしてそのように見えるのか? これは?と思う方、広報委員会まで一報ください。

鏡開き…江戸時代、武家において新年の11日(もと20日)に行われたもので、鎧などの具足に備えた具足餅を下げて雑煮などにして食し「刃柄(はつが)」を祝うとした行事です。この武家社会の風習が一般化しました。

地のがんばる 議会を訪ねて



徳島県那賀町議会では…

- ▶ 議会改革、議員問討議の取り組み
- ▶ 議会改革調査特別委員会を毎月実施
- ▶ 議員間自由討議を全員協議会で実施
- ▶ 車座会議（意見交換会）を4年間で30回程度実施
- ▶ 政策立案
- ▶ ICTの利活用（パワーポイントを使った一般質問、ペーパーレス会議システムの導入）
- ▶ 議会モニター制度の導入

11月19日から22日まで、議会議員全員による県外視察研修を行いました。議会では、議員個々の資質を高め、先進地から学び、政策提言につなげることを目的とするために、徳島県松茂町議会、那賀町議会、高知県黒潮町、四万十市を視察しました。今号では、視察した内容と研修報告をご紹介します。

徳島県松茂町議会では…

- ▶ 議員間で意見を交換。津波・防災対策について、吉田直人松茂町長（右から3番目）から説明を受ける。

先進地からの教え

報告：議長 川村 重光

六戸町議会は、令和元年11月19日から22日まで、議会改革の推進、産業振興の推進、環境づくりを目的に、県外自治体における先進事例の視察研修を行った。

防災・津波対策の松茂町

1日目、昨年度徳島県松茂町議会が当議会で行政視察を行い、その表敬訪問のかたちで議員及び町長も加わり意見交換を行った。

松茂町は、防衛施設があり大企業も立地し、財政的にしっかりした町である。町長のあいさつの中で、町の位置が吉野川の河口中洲にあり防災対策、特に津波や災害対策が重点課題であるのとこのことがあった。

指針となった那賀町議会

2日目、議会マニフェスト全国上位の徳島県那賀町議会では「議会活性化の取り組み」を題材に研修した。

六戸町議会は議会基本条例に基づき、議会報告会、住民や学生との意見交換会を行い、議会検証も行った。その結果、議員問討議、政策提言などの遅れが判明した。今年度は議員の改選により新体制となったこともあり、議員問討議、政策提言等を共同課題としてその推進を図ることを目的とした。

研修結果の特筆は「議員問自由討議」の導入で定例会採決前に開催する全員協議会で議案の他、議員提案に係るもの、行

政課題に関するものなど、議員間で議論を行い、合意形成に努めている。

「政策立案」について町政の課題解決を図るため、条例制定、条例の改正、予算の修正を行い、町の政策等に反映させている。

「アンケート調査の実施」では新成人に対して、まちづくりや政治に関するアンケート調査を実施し、定住移住施策の充実について提言書を町に提出している。その他、通年会期制の導入、ケーブルテレビ中継、ICTの活用（タブレット会議、パワーポイントを使った一般質問）など先進的事例で活発な議会改革に取り組まれ当議会の指針となった。

起業者を支援する黒潮町

3日目は、産業振興、環境保全を課題に、高知県黒潮町、四万十市を訪問した。六戸町ではブランド協議会を立ち上げ、

初詣…もともとは「年籠り」（としこもり、としごもり）と言い、家長が祈願のために大みそかの夜から元日の朝にかけて氏神社にこもるという習慣がありました。やがて年籠りは、大みそかの夜の「除夜詣」と元日の朝の「元日詣」の2つに分かれ、元日詣が今の初詣の原型となりました。



日本最後の清流と言われる四万十川の下流域。四万十の風景のシンボル「沈下橋」から清流を見る。橋の上から鮎の稚魚が確認できた。

高知県四万十市では…

- ▶ 地球温暖化の防止、省エネを目的とした、グリーンカーテン事業
- ▶ レジ袋削減運動の取り組み
- ▶ 四万十川を含む自然環境保全事業
- ▶ 四万十川流域自治体と連携して取り組み、「四万十の日」を制定

高知県黒潮町では…

- ▶ アイデアの段階から販売まで応援します！（産業振興推進事業）
- ▶ 商品の企画段階から開発、加工、生産、販売促進まで事業者の状況に応じた補助事業。事業者の育成を第一に考え、事業終了後も5年間町が支援。
- ▶ 土地の自然を生かした砂浜美術館
- ▶ 学生やスポーツ団体に向けた合宿所の誘致活動

「アイデアの段階から販売まで応援します！」の利用例

- ▶ 商品開発
- ▶ オリジナルグッズの作成
- ▶ 商品パッケージのデザイン
- ▶ 製造機械の導入 など



日本一のトンボ保護区で、トンボと魚を展示している「トンボ王国」を視察。保護区内を歩き、館長から説明を受ける。四万十川流域は自然生物の宝庫である。

六戸ブランドづくりに奮闘しているが、産業振興の点では思うような成果が上がっていない。黒潮町の、産業振興推進事業「アイデアの段階から販売まで応援します！」が、六戸町の産業振興のヒントになることを期待して研修した。

黒潮町では地域産業を振興し雇用を創出するため、商品開発等の支援を重点施策として商品の企画段階から開発、加工、生産、販売促進までの事業者のさまざまな状況に応じた支援を総合的に行うために、黒潮町単独の「補助事業」として行っている。起業を望む方、事業者の支援やサポートを通して事業イメージが湧きやすく、事業意欲をかき立てるような事業で当町の産業振興を図る施策の参考としたい。

清流を守る 四万十市

四万十市では、環境保全の取り組みを研修した。グリーンカーテン事業やマイバック事業を通して四万十川の自然環境保全に取り組んでいる。さすがに清流四万十川を全面に掲げる市で美化運動が進んでおり、河川や市街地等ではごみ等が見受け

られなかった。ちなみに四万十川流域市町村でも全域一斉に河川清掃を行っているとのことだった。当町にも奥入瀬川があり、奥入瀬川の清流を守る条例もある。観光資源として適正な整備を行うことで町の活性化につながる参考例となった。以上を六戸町議会議員視察研修報告とする。



議会マニフェスト全国上位の那賀町議会の皆さんと

町民の声

町民の皆さんの
がんばりは町の元気!!

今回は、スポーツ
協会会長の鈴木章
夫さんです。

鈴木章夫さん

プロフィール(すずき あきお)

南町地区在住。地元生まれの地元育ち。小学校から県外の大学を卒業するまで野球漬けの毎日を送る。大学卒業後、両親が営んでいた酒店で働き、後に店を引き継ぐ。社会人になっても野球をしたいとの思いから、有志と共に野球愛好会(のちの野球協会)を設立。設立当初から現在まで事務局をつとめている。66歳で体育協会(現スポーツ協会)の会長となる。趣味はゴルフと野球。60歳野球で現役ハリバリ妻と二人暮らしの73歳



14団体のスポーツ協会

我がスポーツ協会は、昼間仕事をして、仕事の合間に大好きなスポーツを楽しむ団体の集まりです。

現在、協会には14種目の競技団体があり、約200名の会員が所属しています。一人10000円の会費、町からの助成金で協会を運営しています。会員の皆さんは、上北郡総合体育大会(郡総体)や県民体育大会などで上位入賞を目指して日々がんばっています。

特に、男女バレーが一番、上北郡でも常に優勝準優勝をしていますね。バレー以外では、野球もだんだん選手が若くなりまして、今年の大会でも好成績をあげてくれることを期待しています。

運動環境は抜群!

六戸は、とても運動施設が整っていると思います。体育館は新しくなりましたし、総合運動公園も町営野球場も素晴らし

いと思います。あとは、スポーツに参加してくれる人だけです。昔に比べて会員も減っているの、一人でも多くの方に協会に入ってほしいですね。

2025年、 野球の会場が六戸に

2025年は国民スポーツ大会(国スポ)が青森県で開かれます。六戸は野球競技の会場と決まっています。大会の運営にあたり、野球協会が全面的にバックアップします。出場選手の誘導や、観客の安全を守るためのサポート、ボールボーイなど広範囲にわたります。全国大会を間近で見られ

る、せっかくのチャンスです。いろんなチームが来て試合をするので、野球協会では野球を見ながらお手伝いをするのも、いいんじゃないかなと思います。強いチームが来れば最高ですよ!

さらに、2024年は郡総体が六戸で行われます。会場準備から当日の運営まで、スポーツ協会と各競技の協会が全てを担当します。郡総体と国スポ、大きな大会を目前に控えているので、協会一丸となつてがんばります。

(聞き手 川村 重光
長根 一男)

スポーツ協会に加入しませんか?

野球(軟式) ソフトボール	卓球
陸上	ソフトテニス
ボウリング	バスケットボール
相撲	グラウンドゴルフ
ゲートボール	サッカー
バドミントン	バレーボール 家庭婦人バレー

問 スポーツ協会事務局(総合体育館内)
☎55-3988

編集後記

昨年は、天皇陛下の即位の礼や大嘗祭など令和の新時代を迎えました。

町議会も春の地方統一選挙で2名の新人議員が加わり、各委員会で新たな活動を始めており、年末恒例の議員による議事堂の清掃も行いました。

今年十二支最初の子のうらなで、東京オリンピックもあり、あわただしい年になるでしょう。

また各地で災害のニュースを聞くたびに、どうか今年は何事も起きない年でありませうと祈ると同時に、常に災害への準備と気構えを怠らないようにしたいものです。

皆様の今年一年の無病息災を祈念して編集後記いたします。

広報委員 杉山 茂夫

議会広報委員会

- 委員長 種市 正孝
- 副委員長 盛田 嘉彦
- 委員 川村 重光
- 委員 杉山 茂夫
- 委員 長根 一男
- 委員 松橋 一男
- 発行責任者 川村 重光